No.14

移住者ってどんなひと？

南相馬のかっこいい

おとな手帖

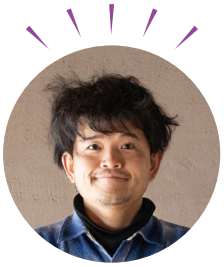
Uターン

東京都 → 南相馬市

おとな手帖

No.14

遊べて出会える飲食店をつくり
どんなことにも挑戦できる地域を目指す



今回のかっこいい大人

川口（かわぐち） 雄大（たけひろ） さん（33）

南相馬市原町区生まれ

お仕事　川口商店　店主

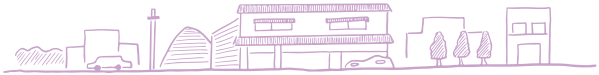
移住歴　2014年～

18歳

専門学校進学のため東京へ。
専門学校を中退し、東京で
芸人としての活動やエアコン
設置業の仕事を経験

24歳

東日本大震災後、
実家の川口商店を継ぐために
南相馬市へUターン



異空間の洞窟サウナ室のお掃除。

水風呂に壁一面にあるお面は川口さんのコレクション。

高校生記者が

川口さんにQ&A聞いてみた！

Q1. 川口商店について教えてください。

A. 川口商店は米や馬の餌などを取り扱っているお店でしたが、私が父の後を継ぎ、飲食店としてリニューアル。「遊べて出会える飲食店」として、同じ趣味を持つ人同士が交流を広げられる場所を提供しようと決意。どんなに人見知りでも同じ趣味があれば、会話が弾みます。家庭や職場以外の居場所、もっと人同士が出会える場所を目指しました。

今は、飲食店と併設してサウナもやっています。サウナに入った後の一番気持ちがいいときに、南相馬のおいしいものを提供しています。どんなにいいものがあっても、知られなければ意味がないので、まずは地元のいいものを知ってもらいたい。県外の人が多いサウナのお客さんに向けて、自分にできることを考えながらお店をやっています。

Q2. 川口さんが考える南相馬について教えてください。

A. 南相馬市の人は、本気で「こういうことがやりたい」と言ったときに、受け入れてくれる人が多いです。やりたいことに挑戦していると必ず壁にぶつかりますが助けてくれます。

支えてくれる人がいるから、新しいこと、やりたいことに挑戦できる環境があると思います。震災から10年以上経ち、避難解除になる場所が増えるにつれて他地域からも人がどんどん入ってきています。私が今考えているのは、これから南相馬市を「自分の家を自分でつくれる地域」にしたいということです。自分自身で家をつくることで、コストや時間に余裕を生み、住民みんなが自分の大切なものに時間やお金を使えるようにしたいです。そんなゆったりした地域があってもいいのかなと思っています。

わたしが記事にしました！

藤木 千尋（ちひろ）
原町高校２年

編集後記

どんなことでも常に挑戦し続ける川口さんの経験談は、川口さん本人が本気である故の重みがあり、惹きつけられるものばかりでした。自分自身のスキルアップのために必要な心持ちや信念もとても素敵です。私もこれから、たくさんのことに挑戦していきたいです。

川口さんの暮らし・仕事について
さらに詳しく！
Webサイトの記事はこちら→

My favorite Minamisoma

南相馬のお気に入り

旭川ラーメンゆーからの醤油ラーメン

YUKARA's Syouyu Ramen

ラーメンがすごく好きで、南相馬に帰ってきてからいろんなラーメン屋さんに行きました。その中でも、旭川ラーメンゆーからの醤油ラーメンが好きで、多い時には週 3~4 回は行っていました。注文は決まって「濃いめの麺硬め」。私しかそのように注文する人はいないかもしれませんが、本当においしいのでおすすめです。

OKINIRI

移住者ってどんなひと？南相馬のかっこいいおとな手帖って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。
彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。
「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前の環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる!?

Publisher：南相馬市役所　移住定住課
Direction：marutt Inc.
Editor：小野民、髙橋慶香、藤木千尋、大井紀葉
Designer：高木市之助
Photographer：鈴木宇宙

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→